

社会福祉法人菊水学園 令和4年度事業報告書

第1 総括

国が進める施設の小規模化・地域分散化を目指して4月に地域小規模児童養護施設「あさがお」を開設し、男児6名が近隣の方々に見守られながら賑やかに暮らしています。全員が個室のため気持ちが不調のときも自分だけの空間が確保されるので、職員もゆとりをもって対応ができています。本園でもユニット化を進めていますが、菊水館2階を小規模グループホームにするための改修工事を実施することができませんでした。これは翌年度事業として行う予定です。

施設定員も47名にしたところですが、年間の充足率が90%を下回りました。これは、コロナ禍で入所を受けられなかったこと、一時保護児童を先に受け入れたために措置入所児童を断らざるをえなかったこと、一時保護から家庭復帰になるケースが多く入所に至らなかったことが原因だと思われます。

昨年度に引き続きコロナ禍は子どもたちの生活に大きく影響を及ぼしましたが、「安心・安全な生活」を第一に、やり方を工夫しながら夏祭りや1日旅行など様々な活動を再開しました。

また、職員の処遇技術向上のために全国規模の研究大会への参加やテーマを絞ったオンライン研修の受講をすすめました。

第2 概況及び実施状況

I 法人運営部門

法人運営については、適切な運営に向けて理事会を開催し、円滑な事業の決定及び事業の執行を図りました。

1 理事会

(1) 第1回理事会 令和4年5月29日(日)

出席：理事6名 監事2名

- ① 令和3年度事業報告について
- ② 令和3年度決算報告について
- ③ 令和3年度予算の流用について
- ④ 積立資産の目的変更について
- ⑤ 評議員会の開催について

(2) 第2回理事会 令和4年10月29日(土)

出席：理事4名 監事2名

- ① 懲戒処分について

(3) 第3回理事会 令和5年3月25日(土)

出席：理事6名 監事 2名

- ① 令和5年度事業計画について
- ② 令和5年度予算について
- ③ 令和4年度補正予算について
- ④ 令和4年度流用予算について
- ⑤ 管理規程の改正について
- ⑥ 就業規則の改正について
- ⑦ 給与規程の改正について

2 監査及び指導監査

(1) 監事監査 令和4年5月21日(土)

・令和3年度事業報告及び決算報告について

(2) 社会福祉法人指導監 実施なし

社会福祉施設指導監査 令和4年11月15日 文書指摘事項なし

II 施設運営部門

法人理念である「子どもの最善の利益の追求」の基、子どもひとりひとりを大切に
する処遇に努めました。

1 児童措置状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
児童数	本園	31	30	29	31	31	29	33	31	31	33	33	33
	さくら	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	あさがお	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(児童数は一時保護委託児童を含みます)

年間延べ児童数	月平均	充足率	
菊水学園	495人	41.3人	87.8%

2 養育・支援について

子どもが表出する感情や言動を受け止めながら子どもを理解することに務め、秩序ある生活を通して基本的な生活習慣の確立や、人との関係づくりを援助した。

①食生活

- ・ コロナ禍のため分散して食事。各テーブルにパーティションを設け、黙食に努める。
- ・ マナーの習得を心がける（箸使い・食べ方・姿勢など）。
- ・ 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供。
- ・ 献立や季節の料理・行事食に関する情報などを掲示し、子どもの発達段階に応じた食習慣を身につけることができるよう取り組む。
- ・ 食中毒や感染症などの防止や発生時の対応について周知し、園内での感染防止に努める。

②衣生活

- ・ 衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを着用。
- ・ 衣服を通して適切な自己表現ができるよう支援。衣類を購入する際には、職員と一っしょに好みのデザインや色を選びサイズを合わせるなどして購入。

③住生活（環境整備）

- ・ 居室等施設全体の整備に努め、修理が必要な場合は迅速な対応を心がける。
- ・ 子ども一人一人の居場所が確保され、安全・安心を感じる場所となるように配慮する。

④健康と安全

- ・ 発達段階に応じ、自己管理ができるよう支援。
手洗い、うがい、歯磨き、洗面、入浴、着替え、睡眠、事故防止など
- ・ 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応する。
- ・ 安全に登下校できるよう通学路の確認を行う。また、高校制は定期的に自転車の安全点検を行う。
- ・ 災害や事故発生に備え、危険箇所を把握し、毎月避難訓練を行う。

⑤主体性と自律性の尊重

- ・ 子ども自身が自分たちの生活について主体的に考えて、自主的に改善していくことができるよう支援する（家族会議・ミーティング等）
- ・ 金銭の自己管理ができるように支援（買い物計画・貯金など）。

⑥学習・進学支援、就労支援

- ・ 学習環境を整え、学力に応じた学習支援を行い、進路の自己決定ができるように様々な情報を提供するなどの支援を行う。

中学3年生 … 高校進学5名（内3名は支援学校）

高校3年生 … 就職1名（マツダ自動車）

進学1名（熊本学園大学）

⑦心理的ケア

- ・ 心理的ケアが必要な子どもに対し、カウンセリングを行う。
- ・ 発達検査や知能検査（WISC・K-ABCなど）を行う。

⑧自立促進とアフターケア

- ・ 子どもが安定した社会生活を送ることができるように、退所後も電話や訪問するなどして相談を受け、トラブルに対応した。

⑨スポーツ活動

- ・ 希望者は学校の部活動に入部。目的を持って積極的に活動できるように支援した。（軟式野球部・バレー部・バドミントン部）
- ・ 児童福祉施設球技大会 : 中止
- ・ 秋季児童養護施設親善スポーツ大会(フットサル・バドミントン)
- ・ 熊本西ロータリークラブ杯駅伝大会 : 中止
- ・ いちごマラソン大会 : 中止

⑩社会教育活動

- ・ 小学生女子8名が、ガールスカウト熊本県第10団に所属。他の団のスカウトやリーダーとの交流を深めた。
- ・ 地域行事のほとんどがコロナ感染症のため中止になる。

3 家族への支援

①家族関係の調整

- ・ 児童相談所や関係機関と連携し、家族からの相談に応じるなどして、子どもと家族との関係調整を図る。

②家族（親子）関係の再構築

- ・ ファミリーソーシャルワーカーが中心となって、家庭訪問をしたり面会や外泊を促したりしながら、子どもと家族との関係作りに積極的に取り組む。

③家庭復帰

- ・ 親の仕事や生活の様子を把握しながら安定した生活環境と親子関係の再構築を図る等して家庭復帰のための支援を行う（2世帯3名が家庭復帰）。

4 地域への支援

①関係機関との連携

- ・ 児童相談所と子どもや家族の情報を共有し、解決に向けて協働して取り組む。
- ・ 小・中学校、高等学校と連携を密にとり、施設の支援方針と学校の指導方針とを確認し合いながら対処する。

②地域に対する子育て支援

- ・ 熊本市との「子育て短期支援事業委託契約」によるショートステイ事業を実施。75世帯の登録があったがコロナ禍のため利用数は3件。
- ・ 地域の民生委員のサロン活動や各種団体の会議・研修に会場を提供した。

③地域との交流

- ・ 自治会や婦人会・子ども会等と協力して、再生資源回収を行う。

5 職員の資質向上

①研修会への参加

- ・ 毎年行われている研修会やセミナーのほとんどが中止になる。
- ・ ZOOM や Web 配信の研修を受けるなどして専門的知識習得の機会を作る。
- ・ 社会保険労務士 平木邦昭様に「職務専念義務とは」と題してご講話頂く。

②スーパービジョン体制の確立を目指す

- ・ 新規採用職員にはホームリーダーがサポートする他、施設長が全職員に面談の機会を設けるなどして、さまざまな問題に組織として対応し早期の解決を目指す。

③職員の働きやすい環境を整備

- ・ ホームリーダーがシフトや勤務時間調整を行い、希望する日に週休が取れる、年休取得を推進するなど働きやすい環境作りに努める。
- ・ 職員のための駐車場や休憩室を整備した。

6 運営について

①運営理念の確立と周知

- ・ 理念：「子どもの最善の利益の追求」

②事業計画の実施

- ・ 施設整備：高玉館児童居室カーテンの取替工事

③職員採用(募集)

- ・ 大学や専門学校に求人を出すと同時に、求人情報サービス企業に登録。
- ・ 施設案内の動画を作成し、オンラインでの説明会を実施する。参加者11名。
- ・ 令和5年度の新規採用職員は、ケアワーカー7名・調理員2名

7. 主な年間行事について

期 日	行 事	内 容
4月1日	辞令交付式	新規採用職員8名
10日	お花見遠足	園庭にて
12日	帯山中学校入学式	2名
13日	託麻原小学校入学式	
10日	くるみ幼稚園入園式	2名入園
4月29日	交流試合(野球・バレー)	
5月8日	サマ任苗植え体験	熊本南ライオンズクラブ 招待行事
11日	消防設備点検	末吉商会
14日	帯山中学校運動会	
15日	ガールスカウト熊本県連盟 ふれあいの日	熊本市動植物園
28日	託麻原小学校運動会	
7月10日	託麻原小学校 集団宿泊訓練(5年生)	天草青年の家(2泊3日)
23日	熊本県児童養護施設球技大会(野球)	飽田グランド
31日	さくら アフリカサファリ1日旅行	
8月5日	白菊 アフリカサファリ	
5日	希望 グリーンランド	
9日	仲よし 映画鑑賞(アンパンマン)	
13日	光 四季の里・ボウリング	
20日	夏祭り	各ホームで出店
22日	大空 ミナース・七福の湯	
22日	あさがお グリーンランド	
9月10日	お月見会	プレイルームでお話し・クイズなど
11日	帯山中学校 宿泊訓練(1年生)	芦北青少年の家
10月14日	託麻原小学校 6年生修学旅行	長崎(1泊2日)
23日	芋掘り体験	熊本南ライオンズクラブ 招待行事
29日	児童養護施設親善秋季スポーツ大会(フットサル)	桜木ふれスポーツパーク
11月6日	” (バドミントン)	西原村総合体育館
27日	熊本県児童養護施設球技大会(バレー)	”
12月2日	ロック・フィルハーモニー大音楽祭	セイホーム招待行事
6日	消防点検	末吉商会
11日	熊本県児童養護施設球技大会(野球)	3位決定戦

11日	クリスマスケーキプレゼント	県洋菓子協会
12日	散髪奉仕	県聾者理容組合様
23日	クリスマスチキンプレゼント	海華様
#	クリスマスケーキプレゼント	テリミックス様
24日	クリスマスケーキプレゼント	吉田様・セブンイレブン大江店様
25日	クリスマスケーキプレゼント	大野商事様・エバガー様
#	クリスマス会	ホーム毎に楽しむ
31日	おせち料理を頂く	ホテルキャッスル様
1月1日	元旦 初詣	新年会 神社参拝
8日	Bリーグ試合観戦(ウオルターズ 応援)	セイホーム様よりチケットを頂く
20日	職員研修(職責とは)	社労士平木様講話
2月3日	節分 海苔巻き寄贈	海苔巻き普及会・寿司協会
24日	職員研修(人権研修)	人権委員会ビデオを視聴
3月1日	高校卒業式	卒業生2名
3日	ひなまつり	雛かざり 行事食
4日	帯山中学校卒業式	卒業生5名
17日	第三者評価受審(～18日)	NPO 法人ワークショップ「いふ」
21日	卒業報告会・お祝い会	小学校2名・中学校5名・高校2名
23日	託麻原小学校卒業式	卒業生2名

〈毎月〉

- ・避難訓練

※「誕生会」はそれぞれの誕生日に、各ホームでお祝い会をしました。

〈定期的なボランティア等〉

- ・散髪奉仕(幼児・小学生・中高校生男子)・・・熊本県聾者理容組合
- ・熊本大学教育学部学生・・・学習支援(週2～3回)

(7) 苦情解決体制整備について

申し出人	内 容	対 応
4月10日 入所児童の祖母	孫が心療内科に通院していることについて、母親にも話しをして欲しい。 娘(母親)が何も知らないと怒っている。	FSW 松本が母に電話する。 心療内科への通院と服薬について事前に了承を得ていたことを再確認し、祖母からの申し出について伝える。 母は祖母との関係が悪く話ができないことを謝罪。

申し出人	内 容	対 応
4月29日 入所児童の祖母	連休の外泊を楽しみにしていたが、連絡が無い。 児相からできると聞いていた。	FSW 松本が対応。 外泊についての連絡をしなかったことを謝罪する。改めて連休中の祖母の都合を尋ね、日程調整をする。 気持ちが落ち着くと、「自分からも電話すると良かったです」と話している。 児相の担当 CW に報告。再度外泊時の日程調整について説明をして頂くことになった。
5月16日 近隣の住民	庭にラップで包まれたおにぎりが投げ込まれていた。今までにも何度かあった。 シューズ袋とかタオルが落ちていたときは、その都度投げ返していました。	FSW 松本が対応。 謝罪し、職員や子どもたちにも注意しておくことを約束する。 おにぎりを持って行く子どもは限られているので、担当職員に伝え子どもへの指導を指示する。
6月4日 近隣の住民	再度、おにぎりが2個投げ込まれていた。	FSW 松本が対応。再度謝罪する。 おにぎりを持参する高校生への指導の経過について担当職員にたずねると、捨てていた高2男児には指導をしたと報告。 全く反省できていない様子だったので、施設長が面談する。